

〔海況概要〕（令和3年1月7日～1月13日）

今週の本県近海の表面水温は、9～18℃台を示し、かなり低め～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕（令和3年1月7日～1月13日）

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。五島奈留地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり1トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり33kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり65kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ウスバハギなどが1日1統当たり312kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり171kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤリイカなどが1日1統当たり51kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり249kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり111kgの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。

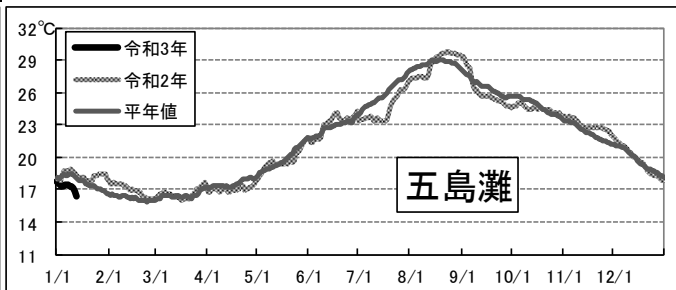
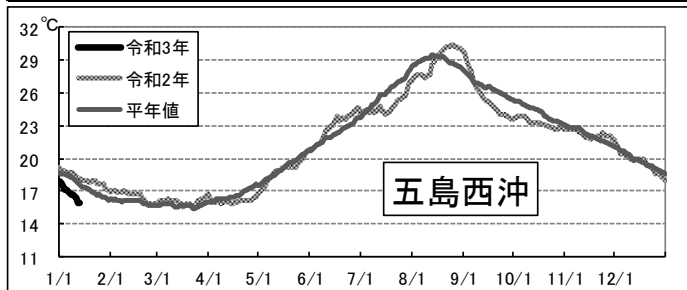
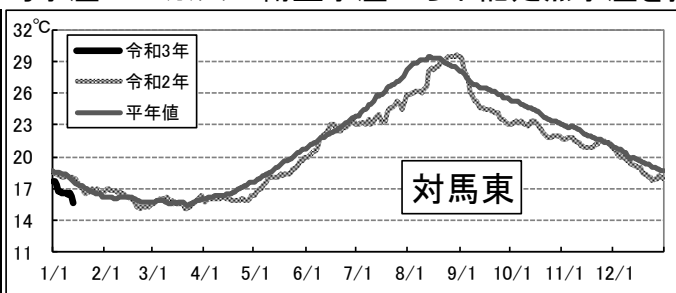
〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/9～1/13の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島沖及び八戸沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び島根半島沖、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延8隻、総計499（前期なし）、1航海最高160箱、平均62.4箱。スルメイカ（20～30入）219箱、ヤリイカ（20～25入）280箱の混獲となった。（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGSST（人工衛星水温）〔気象庁発表〕より

令和3年1月7日～令和3年1月13日の平均水温 ※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	16.4℃	-0.9℃	-1.3℃
五島西沖	16.4℃	-1.1℃	-1.6℃
五島灘	17.1℃	-0.4℃	-1.2℃



〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-1号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果・第3-2号 長崎県周辺海域の海面水温（1月号）」を発売しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>